

## 平成31年 第1回臨時教育委員会会議（報告）

平成31年2月19日

### 1 議 事

日 程	件 名	議決年月日	議決要旨
議案第1号	平成31年度教育行政執行方針について	H31.2.19	原案可決

### 2 所管行政に関する協議

日 程	件 名	協議等年月日	要 旨
協議事項1	山村留学について	H31.2.19	資料協議

## 平成31年第1回臨時教育委員会会議録

美深町教育委員会会議を次のとおり開催したので、その記録を委員会会議規則第8条に基づき報告いたします。

1. 開催日時 平成31年2月19日(火) 午後1時00分～午後2時10分

2. 開催場所 美深町文化会館 COM100 小会議室

3. 出席者(13名)

〈委員〉	教育長	石田政充	代理	庄司村尾
	委員	清水満寿美	委員	坂井弘明
	委員	安喰俊博		
〈職員〉	センター長	藤原裕子	主幹	大堀裕康
	学校給食C長	竹田哲	副センター長	富田由佳
	参事	和田政則	副主幹	久保元樹
	係長	渡辺弘規	主任	前田研吾

4. 議決した件名

議案第1号 平成31年度教育行政執行方針について

5. 所管行政に関する協議等

協議事項1 山村留学について

6. 会議記録

◎ 開 会 (午後1時00分)

教 育 長 それでは平成31年第1回の臨時教育委員会会議を開催したいと思います。

(1) 議 事

教 育 長 議案第1号「平成31年度教育行政執行方針について」に入ります。  
執行方針は、私が読み上げます。  
(議案第1号について読み上げ)

庄 司 委 員 地元高校への進学を促すとありますが、美深以外からきている生徒もいると思いますが。

教 育 長 地元高校へという部分を美深高等学校に修正したいと思います。  
庄 司 委 員 ふるさとへの愛着や思いやりの心を育み、あらゆる活動の源である体力・運動能力とありますが、あらゆる活動の源には体力・運動能力ではなく知力も必要だと思いますが。

教 育 長 前段に主体的に学び自立するための力を養いの部分が知、ふるさとへの愛着や思いやりの心を育みが徳、あらゆる活動の源である体力・運動能力が体という中で表現をしているところですが、検討をさせていただきたいと思います。

庄 司 委 員 仁宇布小中学校の表現が少ない感じがしますが。  
 教 育 長 平成31年度当初予算では学校の実施設計を予算計上されてないこともあり、学校建設関係のことを触れていませんので、今後補正予算で計上された中で表現をしていきたいと思えます。

庄 司 委 員 親子のふれあいの場や学習の機会をつくりとありますが、具体的な事業はありますか。

主 幹 これまでも行っている親子ふれあい広場や、児童館まつりなどを継続して実施していくということでございます。

庄 司 委 員 多様な人々との関わりや、様々な経験を重ね成長できるようサポートしますとありますが、地域との関わりをもちという表現がいいと思えますが。

教 育 長 表現として関わりやでは地域との交流が十分さが欠けているとも思えますので、表現方法を確認したいと思えます。

庄 司 委 員 幼児センターは調理室が新しくなりましたが、執行方針に記載がないようですね。

幼児センター長 調理室に関しましては平成30年度の教育執行方針で触れていますが、平成31年度改修工事とあわせて検討したいと思えます。

教 育 長 他に質疑はありますか。

教 育 長 (「なし」の声あり)

教 育 長 様々な意見を頂いたところでございますが、一部整理をして後日委員さんにお知らせをしていきたいと思えます。

それでは、議案第1号は決定させていただきます。

## (2) 所管行政に関する協議等

教 育 長 協議事項1「山村留学について」ですが、今までの説明や意見交換を踏まえまして、ご意見を頂ければと思えますが、前回の会議の中では議会からだされている、様々な課題をご説明させて頂いているところです。

庄 司 委 員 総合教育会議の議案には仁宇布小中学校建設に関わる予算は記載していませんが。

教 育 長 口頭では説明をしていきたいと思えますが、まだ流動的な部分や、町としての方向性が出ていない部分もありますので、数字が一人歩きますと色々な課題がでてくることでもございますので口頭での説明とさせていただきたいと思えますが現段階での予算の報告をお願いします。

参 事 校舎建設費については約4億7千万円と推計しています。実施設計、グラウンド整備、校舎解体もあわせると約6億5千万円と推計ですが、金額を圧縮できないか協議を続けているところです。

教 育 長 補助金はいくらになりますか。

参 事 補助金については基本的に国の基本額の100分の55で1億2千万円を見込み、起債が3億7千万円、一般財源1億6千万円を見込んでいます。

教 育 長 現段階では説明のありました金額を見込んでいますが、これをいかに圧縮していくかということです。

庄 司 委 員 建設費に対して国の補助金が100分の55という説明でしたが、補助金額が少ないようですね。

参 事 実際の工事費ではなく、国の補助基準単価があり、国の単価が低いことにより補助金額が少なくなります。

坂 井 委 員 親子留学世帯に対する支援内容の見直しとありますが、内容は決まっていますか。

参 事 具体的には決まっていますが、現時点で親子留学世帯に対して子ども2人までが月額3万円、3人の場合は月額4万5千円という基準を設けており、月額の部

分については生活拠点が二つあることもございますので、現時点では見直しは考えていませんが、その他に夏休み、冬休みに期間に体験活動費として、1回8万円、夏冬休みあわせて16万円という助成もありますのでこちらを若干見直しが必要ではないかと考えています。

- 庄 司 委 員 事  
参 坂 井 委 員 事  
坂 井 委 員
- 1回8万円は道内・道外で金額は変わりますか。  
一律です。  
ホスターホーム生に対しては月額1万円でもよろしかったですか。  
委託料5万円設定で、保護者からは4万円を頂いて、残りの1万円を町で補填している形となります。またホーム生が帰宅する際の旅費の半分を助成しています。
- 坂 井 委 員
- 助成についてですが、ホスターホーム生は月額1万円、親子留学世帯は子ども2人まで月額3万円と説明がございましたが、親子留学世帯の夏冬休みの助成部分については見直しの必要性を感じ、ホスターホーム生と親子留学世帯を比べますと親子留学世帯の方が手厚く感じますが、それ以外の町民税や家賃などの軽減とかはあますか。
- 参 事  
坂 井 委 員  
参 事  
教 育 長
- 税金の軽減はありません。家賃は古い住宅ですと3千円で、新しいところだと3万円になります。  
町民への情報提供による理解の促進とありますが、どこまでを情報提供しますか。今の状況ですと町民の方々は理解ができませんと思います。  
情報提供の中身についてはそこまで検討はしていませんが、ある程度までの情報提供をしていかなければご理解頂けないとは思いますが。  
情報提供する方法としては、広報誌ですとかそういうところになると思いますが、これまでの運営でいえば毎年の経費については国からの交付税で見られている中で実施している状況であり、学校建設にかかる予算の中身については、町の負担がございまして、新しい体制になることで、これまで以上に新しい経常的な経費が増えていくことが予想されますがそういった部分が全体の交付税ですとかで賄えるかどうか、見極めは必要だと思います。また山村留学生の助成ですが、親子留学世帯は家族全員で引っ越してくることはまずありませんので、2地域居住生活になるということがあって、少し手厚くしてきた経過がございまして。ご意見いただいたとおり、親子留学世帯に対する支援をどう見直していくか、見直した結果それによってくる、こないという影響も見極めていきたいと思っております。
- 坂 井 委 員
- 今後学校建設が行われた場合、建設した以上は児童生徒確保はしていかななくてはならない中、ホスターホームを建替ということもできますし、方向性としてホスターホームではなく、親子留学世帯だけ受け入れていくというのであれば親子住宅だけ建設で済みますが、毎年ホスターホームは6人受け入れる体制ではあると思いますが、例えば1人の年があった時に、管理人全体の年間人件費を考えると莫大な金額になると思っておりますので、学校建設を行う上でしっかりホスターホーム生確保に向けてどうアピールしていくのか考えていく必要があると思っております。
- 清 水 委 員  
教 育 長
- 今色々な事情で学校に通えない子ども達がいると思いますが、山村留学という形にとらわれないで、違う形にすることは可能ですか。  
今現在、仁宇布の学校に通わせたいという家庭もあれば、様々な課題を持った子どもが課題を克服しようとしてこられている家庭もあります。受け入れる方法として、子ども達がしっかり1年1年を過ごしていけるように面接の中で心がけているのは、子ども達本人が頑張るって克服しようとする意思があるか、それがないと乗り切っていけないと思っておりますし、ただ、課題のある子だけに特化した学校にするにはまた議論が必要だと思います。
- 坂 井 委 員  
教 育 長
- 途中で帰られる子どもの理由は分かりますか。  
来るときに子ども達がどこまで学校に対して理解をしてきたかということもあると思っております。自分の自由にならない、思いどおりにならないなども理由に挙げられると思っております。
- 坂 井 委 員
- 今来られる子どもは不登校の子が多いですか。

教 育 長 今ほほとんどそのような状況の子がきています。  
清 水 委 員 不登校の子が来るからには、親も本人も希望があるから面接を受けて学校に来る  
教 育 長 そのようなケースになりますと児童相談所等の関係もできますが、今仁宇布で  
教 育 長 実施しているのは、あくまで美深に住所を移して学校に通っている状況で、通常  
教 育 長 他に質疑はありますか。  
教 育 長 (「なし」の声あり)  
教 育 長 質疑がないようですので、協議事項1は協議済みとさせていただきます。  
教 育 長 その他「美深町総合教育会議について」説明をお願いします。  
教 育 担 当 (「美深町総合教育会議について」説明)  
教 育 長 仁宇布小中学校の教育について、英語教育の推進について、幼児教育の推進につ  
教 育 長 いてを議題としてこれまで色々議論してきたことを踏まえまして、総合教育  
教 育 長 会議の中で意見交換をしていきたいと思います。

---

◎ 閉 会 (午後2時10分)

教 育 長 以上をもちまして、平成31年第1回臨時教育委員会会議を閉会いたします。  
大変ご苦労様でした。

---

上記会議録について 平成31年3月27日確認

北海道中川郡美深町教育委員会教育長 石 田 政 充

北海道中川郡美深町教育委員会職務代理者 安 喰 俊 博